

国立大学法人東海国立大学機構

(「ヒューマン glycome プロジェクト」本格始動！)

【概要】

文部科学省 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術研究の大型プロジェクトに関する作業部会の事前評価(報告)が令和4年11月に公表されました。その評価結果や留意点を踏まえ、東海国立大学機構(名古屋大学、岐阜大学)、自然科学研究機構ならびに創価大学が実施主体となり、生命科学領域において初の文部科学省「大規模学術フロンティア促進事業」として「ヒューマン glycome プロジェクト(英語名: Human Glycome Atlas Project: HGA)」を始動することとなりました(代表: 門松健治 東海国立大学機構・理事)。

糖鎖は、核酸やタンパク質と並び、生物の生命活動に欠かせない「第3の生命鎖」とされています。本プロジェクトでは、上記3機関が互いに連携し、日本の総力を挙げて糖鎖情報を世界に先駆けて網羅的に読み解くことを目指します。生命機能の解明をさらに推し進め、その成果が医療をはじめとしたさまざまな研究分野で応用されることが期待されます。

令和5年2月16日(木)には、文部科学省記者会見室において、3機関による記者会見を実施しました。記者会見では、3機関の長が本プロジェクトへの意気込みと決意を述べるとともに、本プロジェクトに寄せられた全世界の研究者コミュニティからの期待の声も紹介しました。

※ 当日の様子は以下のページからご覧いただけます。

<https://igcore.thers.ac.jp/news/468-2.html>



記者会見の様子

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/2/17	岐阜	「糖鎖」解明 国内で連携 認知症の予防 鍵握る分子 岐阜大など新プロジェクト 新年度から本格始動～ヒューマン glycome プロジェクト～
2023/2/17	中日	認知症や糖尿病, がん予防への光 名大, 岐阜大など世界に先駆け10年計画 「糖鎖」解析本格始動へ～ヒューマン glycome プロジェクト～
2023/2/17	日刊工業	「糖鎖」情報解読で連携 東海国立大機構など 研究基盤確立目指す～ヒューマン glycome プロジェクト～